

サドル上げ立ちこぎ 君に春の風

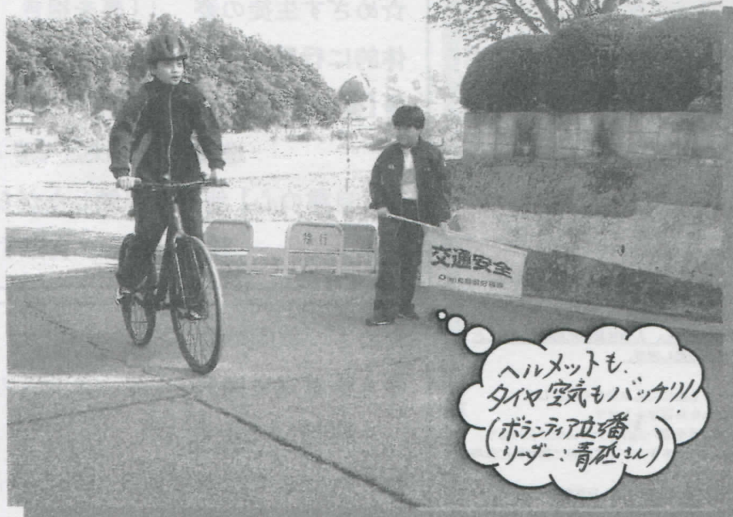
みちを

法中校長室通信

路中ササ~みちくさ~

R7,4,23

文責：船越 路央



4月は「なりたい自分」を描いて、心のスイッチを入れる季節。なんにでもなれる希望が溢れる季節。

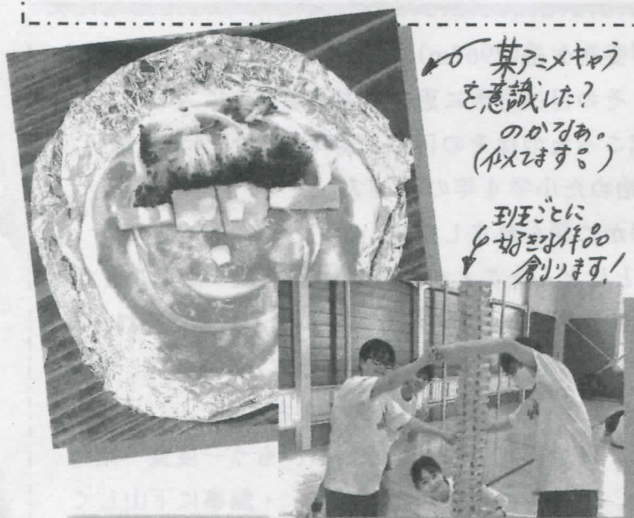
君はどんな未来を描いていますか?

人は描いたことが行動につながっていきます。どうせなら明るい未来を描こうじゃないですか。

三年後・十年後に幸せが満ち足りている自分自身を想像しながら・・・。

法中でもアートしようぜ!!

休日に鳥取県立美術館に行ってみました。ピカソやモネなど、世界一流の絵画や、話題のBOXに圧倒されながら鑑賞を続けていくと、一枚の現代アートに足が止まりました。何枚もの新聞(日本海新聞)に英語のスペルがハンドメイドでデザインされています。よく観察すると、本校の卒業生が活躍した記事も掲載されていました。「無駄に解釈をしたり価値をつけたりせず、己の感性のみで観賞することが大切」と、アート関連の本に書かれていましたので、できるだけ無心で眺めていました。その時に感じたのは、「あれ、法中学生はすでにアーティストなんじゃない?」ってことです。「美術の時間に制作する作品だけがアートではなく、日常のノートや委員会が作るポスターも立派なアートじゃないのかなあ・・・」その視点で日々、提出されるノートを眺めるのも実に楽しいものですね。ぜひ、訪問の際にゆっくりとご覧ください。



4月18日(金)快晴。1年生は、大山青年の家へ研修に出かけました。お昼に食べるピザを調理する際に、あるグループの皿に目に留まりました。(写真左)・・・何と! 玉ねぎとハムとブロッコリーとチーズで顔ができあがっていました。これも立派なアート作品なのですね。(ちなみにとても上手に焼きました。)写真右は、午後のレクリエーションで行ったカブラというドイツ製の積み木です。シンプルですが奥が深く、ハマる人も多い?とか・・・自分の身長より高くなったら肩車するチームがありました。遊びの中にアート。食の中にもアート。そして、勉強時間にアート。日常はアートに溢れてる!!

親の名言

うちの子、風呂に入りながら「寿限無」言ってます。昨日は「2(ツー)寿限無」までチャレンジしていました。(笑)



法中校区学校運営協議会に承認されました!

令和7年度 法勝寺中学校グランドデザイン

校 訓 : 『 自 主 』 『 責 任 』 『 明 朗 』

学校教育目標 : 『知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成』

学校テーマ

喝采が響きあい、地域に愛される法勝寺中学校

☆めざす生徒の姿 : 「夢を抱き、人と調和しながら主体的に行動できる生徒」

- 【夢の実現】自分の可能性を信じてひたむきに努力し、進路を自己決定できる生徒
- 【自律の心】他者と協働しながら何事にも意欲的に挑戦し、社会に貢献する生徒

夢の実現

自律の心

★自分の可能性を信じて努力し、進路を自己決定します。

- ・公私の区別をわきまえた振る舞いをします。
- ・授業の合図の前から学習を始めます。
- ・授業を通じて、自分たちで学習課題を解決します。
- ・家庭学習を毎日継続し、提出物の期限を守ります。
- ・部活動を通して心と体を鍛え、高い目標を目指してがんばります。

★他者と協働し、人や社会のためにできることを考え行動します。

- ・いつでも誰にでも自分から挨拶します。
- ・呼ばれたら返事をします。
- ・人の発言や問いかけを大事に受け止めます。
- ・地域行事やボランティア活動に積極的に参加します。
- ・生徒会活動を盛り上げ、自治精神を高めます。
- ・自分に任された役割は、最後まで責任を持ちます。

☆めざす教師の姿

- ◆人権感覚に優れ、生徒一人一人の長所を伸ばしていける教師 Cheer
- ◆プロとして授業で力をつけられる教師 Clever
- ◆同僚性を大切にし、地域や仲間と協力できる教師 Collaborator
- ◆変化に柔軟に対応し、生徒とともに成長できる教師 Challenger

法中職員
46

指導の重点

「子どもを育てる」学校から「子どもが育つ」学校へ

- 「学習の主体者は生徒」であることを基本とし、仲間づくりと学力の向上をめざします。
- 全ての学校教育活動を通じて生徒の主体性を伸ばし、生徒同士のつながりを深める指導に努めます。
- 生徒・教職員・家庭・地域の4者が協働し、生徒の自己実現と社会参画への意欲を育てます。

25年度の成果・課題より

- ◎生徒会を中心とした生徒同士のつながり
- ◎部活動の地域移行推進
- ◎学校生活の生徒満足度向上

- ▲SNSをはじめとする情報機器の活用
- ▲公私の区別を意識した場に応じた行動
- ▲家庭学習の定着

☆めざす生徒の姿 : 「夢を抱き、人と調和しながら主体的に行動できる生徒」

- 【夢の実現】自分の可能性を信じてひたむきに努力し、進路を自己決定できる生徒
- 【自律の心】他者と協働しながら何事にも意欲的に挑戦し、社会に貢献する生徒

☆めざす教師の姿

- ◆人権感覚に優れ、生徒一人一人の長所を伸ばしていける教師 Cheer
- ◆プロとして授業で力をつけられる教師 Clever
- ◆同僚性を大切にし、地域や仲間と協力できる教師 Collaborator
- ◆変化に柔軟に対応し、生徒とともに成長できる教師 Challenger

これを受けて本校CS委員も活動
とスタートしていきます。「至るまで」
をテーマにまず次の2点から始めます。
◎ 学校の掲示板(コーナー)に、CS委員
メンバーの顔写真やプロフィールを貼ります。
◎ 中学生といっしょに(掃除時間)そうし
します。5月14日(水)に決定!!しました。



魚の煮つけの思い出 ~食のエッセイ①~

元気に
たべよう!



「魚の煮つけ」の思い出。学生時代、甲斐駒ヶ岳(2967m)に、小学生10名と一緒に登山するボランティアをしたことがあります。その日は好天に恵まれて予想以上にスムーズに登頂したのですが、ちょっとした事件が起こったのはその日の夕食時でした。「魚は嫌い。ほかのおかずがいい。」とわがまを言い始めた小学4年のHさん。

料理長はその様子を見ながら、本人に静かに語られました。

「あのね、山の上に魚があるってことはどんなことかわかるかな? 誰かがここまで運んでくれたんだよ。そして料理するには水が必要だね。その水も誰かが運んでくれたんだよ。君はこれから来た道を下山していかなくちゃならない。その時の体力を考えて、私も精一杯作ったんだよ。食べられるなら時間がかかってもいいから食べなさい。」

優しいけど強い意思を感じた言葉でした。Hさんはうなずきながら、もう一度食べ始めました。翌日は快晴。しりもち付きながら、山ヒルにも襲われながら・・・無事に下山して宿についた最初の言葉を私は忘れません。「リーダー(船越のことです)、水道から水がでるよ! 水がおいしいよ。」この日を境に、Hさんはすべてのご飯を完食していました。

「いただきます」の言葉がいつもより大きく感じた8月の出来事でした。